

東郷町地域福祉計画
ワークショップのプログラム案

I ワークショップとは？

(1) なぜ、「ワークショップ」をするのか？

地域福祉については、様々な課題が散在しており、行政だけで対応することは難しくなっています。

町全体で東郷町の地域福祉について考えるためには、住民のみなさんが『どのように思われ、何をされているのか』を把握することと、『何をしていくのか』を明確にすることが大切であると考えています。

地域に住んでいる住民のみなさんとともに、「こんな地域福祉になったらいいなあ」という理想や、そのためにできる支援・アイデアなどをお聞きし、第1期東郷町地域福祉計画への参考としたいと思います。

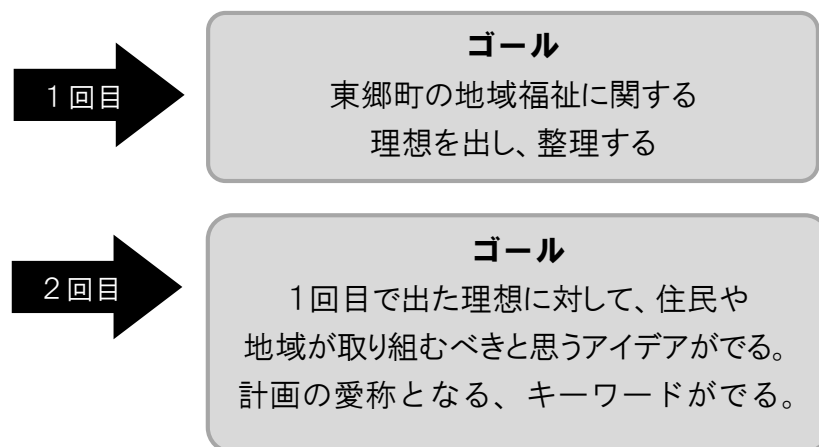
(2) 「ワークショップ」とは何か？

ワークショップとは、先生や講師から一方的に話を聞くのではなく、参加者が主体的に論議に参加し、相互に刺激し合い学び合う方法です。

(3) 今回の「ワークショップ」の内容は？

ワークショップにおいて、東郷町の地域福祉の未来について話し合い、第1期計画において、住民・地域・団体が取り組むべき地域福祉活動のアイデアを出していただきます。

また、ワークショップは2回にわたって開催するため、それぞれの回のゴールを、



とします。

II ワークショップの概要

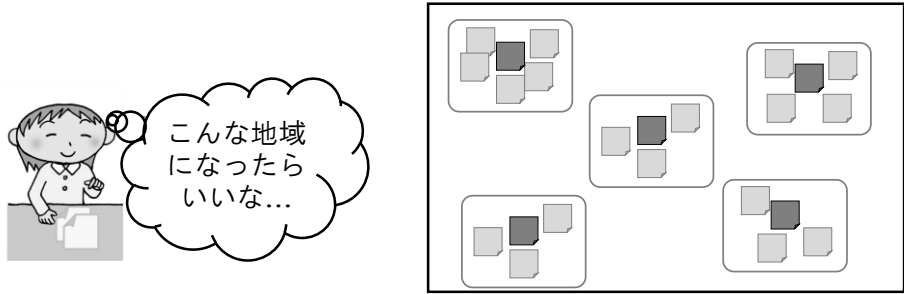
(1) ワークショップ実施の目的

各小学校区で地域福祉の理想、今後市民で取り組みたいこと等を検討し、今後地域福祉を東郷町で進めていくための足掛かりとする。

(2) ワークショップの対象（案）

対象者	人数・回数
・ 地域住民 ・ 民生委員・児童委員 ・ 生活支援サポーター ・ 児童館や子育て支援センター利用者 ・ 学校支援ボランティア ・ To go senior ボランティア登録者 ・ 中高生・大学生（町内、近隣の学校への呼びかけ）	各小学校区で 10～15 人程度 × 2 回（3 小学校区合同開催）

Ⅲ ワークショップの進め方(1回目ワークショップ)

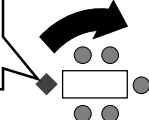
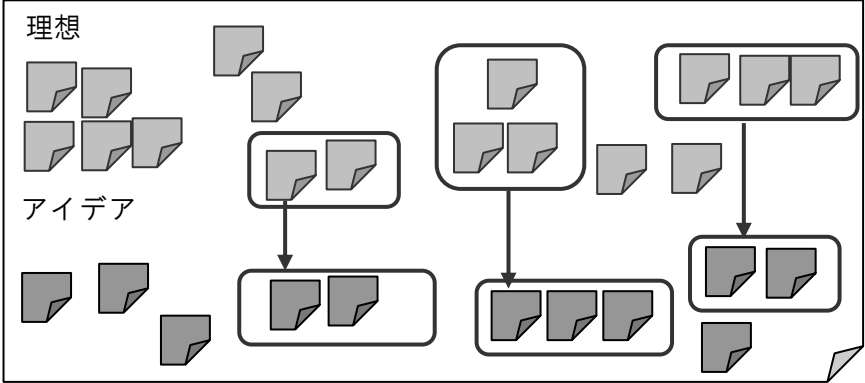
TS	内容
2～3分	グループごとに分かれる 最大3つの班に分かれる※事務局振り分け
5分	アイスブレイク 班の中で、簡単に自己紹介
15分	ワークショップ開始 1. 東郷町の地域福祉について、「5年後こうなったらいいなあ」という理想をフセン紙に書く ●必ず1枚のフセン紙に1つの課題を書く
20分	2. フセン紙を、机の模造紙に貼りつけていく ●フセン紙は、内容を一言で言いながら貼り付ける 
30分	3. 貼りつけたフセン紙のうち、内容が似ているものをまとめ、似たような理想のグループをつくる ●班の中で話し合いながら、似ている意見をまとめる 
20分	4. 理想のグループごとに、タイトルを付ける ●例「多世代交流を増やす」 「まずは隣近所からの見守りと気づき」 「ちょいボラ」
10分	共有 班ごとに、簡単に今日の進捗状況を報告する（ギャラリーウォーク）

1回目

ゴール

東郷町の地域福祉に関する
理想を出し、整理する

Ⅲ ワークショップの進め方(2回目ワークショップ)

T S	内容
10 分	前回の振り返り 机の上の「前回の模造紙」を見て、前回話したことを共有する ● 1 人が、1つの理想のグループを説明したら、右隣の人が、別の理想のグループを説明する この理想のグループは、簡単に言うと～～ということでした！ 
15 分	ワークショップ開始 1. 理想のグループごとに、「住民として、活動者として、何をしていくべきか、どんなことができるか」のアイデアを、新しいフセン紙に書く ● 1つの理想に対して、いくつアイデアを出してもよい ● 必ず1枚のフセン紙に1つのアイデアを書く
25 分	2. アイデアのフセン紙は、模造紙に貼りつけていく ● フセン紙は、内容を一言で言いながら貼り付ける ● どの理想に対するアイデアなのか分かるよう、近くに貼りつける 
25 分	3. 他の人のアイデアのフセン紙を見て、なぜそう思ったのかを質問したり、答えたりしながら話し合う 似ているアイデアは1つのフセン紙にまとめたり、新しいアイデアはその都度新しくフセン紙に書く
30 分	発表 班ごとに、「住民として、活動者として、何をしていくべきか」のアイデアを、模造紙を見ながら発表（1グループごとに、3分以内）

2 回目

ゴール

1 回目で出た理想に対して、住民や地域が取り組むべきと思うアイデアがでる計画の愛称となる、キーワードがでる

Ⅳ より良い話し合いのための約束

(1) まず、「傾聴」

(2) 言いたいことは、簡潔に

(3) 人の意見を、否定しない

(4) とりあえず、意見を出してみる。

質より量！粗削りなアイデア大歓迎！

(5) 人のアイデアへの便乗也大歓迎！